

医療安全推進委員会

委員長：磯貝 典孝

委員：内沼 栄樹、遠所 瑞弘、高木 誠司、根本 充、四ツ柳高敏

開催年月日：①平成 26 年 4 月 9 日、②平成 26 年 10 月 10 日

③平成 27 年 1 月 10 日

- 主な議題：1. 医療安全に関する情報収集
2. 医療用器材、医薬品の安全性に関する情報収集
3. 関連領域学会との情報交換
4. 1) ～ 3) の学会ホームページへの掲載

活動の概要：1. 以下を学会ホームページに掲載した。

- 1) 『『良質な医療の提供に資する情報基盤の整備』事業に関する公募』厚生労働省医政局総務課保健医療科学技術調整官(2014. 2. 13)
- 2) 「医療ニーズの高い未承認医療機器等の早期導入に関する要望の募集」厚生労働省医政局経済課医療機器政策室(2014. 5. 1)
- 3) 「医療機器の不具合等報告の症例の公表および活用について」厚生労働省医薬食品局安全対策課(2014. 8. 8)
- 4) 『『地方厚生局における【再生医療等の安全性の確保等に関する法律】に関する説明会の開催』の実施についての周知』厚生労働省医政局研究開発振興課(2014. 8. 25)
- 5) 「再生医療等の安全性の確保等に関する法律に関する通知について」厚生労働省医政局研究開発振興課(2014. 11. 13)
- 6) 『『医薬品・医療機器等安全性情報報告制度』の周知依頼』厚生労働省医薬食品局安全対策課長(2014. 11. 19)
- 7) 『『輸血療法の実施に関する指針』及び『血液製剤の使用指針』の一部改正』厚生労働省医薬食品局長(2014. 11. 21)
- 8) 「再生医療等の安全性の確保等に関する法律に関する通知について」厚生労働省医政局研究開発振興課(2014. 12. 8)
- 9) 「国が行う特定細胞加工物の製造の許可等における登録免許税及び手数料にかかる事務処理について」厚生労働省医政局研究開発振興課(2014. 12. 9)
- 10) 「遺伝子治療臨床研究に関する指針の一部改正」厚生労働省大臣官房厚生科学課長(2014. 12. 10)
- 11) 「再生医療の迅速かつ安全な研究開発及び提供並びに普及の促進に関する基本的な方針」厚生労働省医政局経済課並びに研究開発振興課(2014. 12. 15)
- 12) 「医療機器及び再生医療等製品の不具合等報告の症例の公表および活用」厚生労働省医薬食品局安全対策課(2015. 1. 9)
- 13) 「独立行政法人医薬品医療機器総合機構が行う審査等の手数料」医薬品医療機器総合機構(2014. 12. 3)

- 14) 日本医療安全調査機構
 - a. 「フォンレックリングハウゼン病における血管破綻のリスク」(2014. 3. 13)
 - b. 「甲状腺術後の起動閉塞のリスク管理」(2014. 5. 23)
 - c. 「腸管再建時における逆蠕動吻合のリスク」(2014. 12. 10)
- 15) 日本医療機能評価機構
 - a. 「シリンジポンプの取り違い」(2014. 4. 24)
 - b. 「はさみによるカテーテル・チューブの誤った切断」(2014. 5. 23)
 - c. 「2006 年から 2012 年に提供した医療安全情報」(2014. 6. 23)
 - d. 「人工呼吸器の配管の接続忘れ」(2014. 7. 23)
 - e. 「MRI 検査室への磁性体の持ち込み」(2014. 9. 29)
 - f. 「インスリン注入器の取り違い」(2014. 11. 21)
 - g. 「カリウム製剤の投与方法間違い」(2015. 1. 21)
2. 日本医療安全調査機構 平成 26 年度定時社員総会に出席(平成 26 年 6 月 24 日・日本外科学会会議室)(磯貝委員長)
2 年以内に、“医療事故調査制度の法制化”されることとなった。新制度の施行は平成 27 年 10 月と決まった。
3. 日本医療安全調査機構 平成 26 年度定時社員総会に出席(平成 26 年 9 月 24 日・日本外科学会会議室)(磯貝委員長)
新“医療事故調査制度”(平成 27 年 10 月より施行予定)に向けた取り組みについて説明があった。
4. 医療安全全国共同行動 2014 に出席(平成 26 年 11 月 23 日・幕張メッセ国際会議場)(磯貝委員長)
特別講演”患者安全のたどってきた道“(ハーバード大学 Dr. Goldmann)において、米国における医療安全キャンペーンの結果が報告された。3 年間で 40%の医療事故減少が可能となった。
5. 厚生労働省および一般社団法人日本専門医機構の趣旨を踏まえて、日本形成外科学会学術集会(春・秋)のプログラムの中で、医療安全に関する講演を企画した。
第 23 回学会(松本)にて医療安全講演が開催された。
第 58 回学会(京都)では、厚生労働省医療安全推進室長 大坪氏に講演依頼をした。
上記の医療安全に関する講演の聴講は、今後、日本形成外科学会専門医取得および更新時に必要となることが予想されている。